

会社情報

会社概要

2014年12月31日現在

商号	ホシザキ電機株式会社 (HOSHIZAKI ELECTRIC CO.,LTD.)
所在	本社 〒470-1194 愛知県豊明市栄町南館3-16 (代表電話) 0562-97-2111
設立	昭和22(1947)年2月5日
上場	平成20年12月10日：東京証券取引所市場第一部 並びに名古屋証券取引所市場第一部
資本金	79億48百万円
事業内容	全自動製氷機、業務用冷凍冷蔵庫、 業務用食器洗浄機をはじめとする各種フードサービス 機器の研究開発及び製造販売
決算	12月31日
従業員数	(連結) 11,808名 (単体) 1,167名
連結子会社	国内17社 海外36社(合計53社)

役員

2015年3月26日現在

代表取締役社長	坂本 精志	取締役	小倉 大造
専務取締役	浦田 康博	取締役	尾崎 司
常務取締役	本郷 正己	取締役	恒松 孝一
常務取締役	川井 秀樹	取締役	落合 伸一
取締役	小川 恵士郎	常勤監査役	北垣戸 弘充
取締役	丸山 暁	監査役	小野田 誓
取締役	小林 靖浩	監査役	南舘 欣也

株主メモ

事業年度 1月1日から12月31日まで
 定時株主総会 毎年3月
 株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
 三井住友信託銀行株式会社
 郵便物送付先 〒168-0063
 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
 (電話照会先) 電話 0120-782-031(フリーダイヤル)
 取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の
 本店及び全国各支店で行っております。

- 配当金のお振込指定手続きについて
 配当金の受取り方法として、お振込みによるお受取りをご選択いただくことができます。株券電子化により、従来の配当金振込口座のご指定方法に加えて、あらかじめ登録した一つの預金口座で株主様の保有しているすべての銘柄の配当金のお受取や、証券会社の口座でも配当金のお受取が可能となります。確実に配当金をお受取いただくためにも、これらの振込による配当金のお受取をお勧めします。詳しくは、お取引証券会社等にお問合せください。
- 住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について
 株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
 なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
- 未払配当金の支払について
 株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。



ホシザキ電機株式会社

〒470-1194 愛知県豊明市栄町南館3-16 総務部総務課
TEL:0562-96-1111 FAX:0562-97-7427

証券コード：6465



株主・投資家の皆さまへ

ホシザキグループ
報告書

第69期 (2014年1月1日～12月31日)



過去最高の売上・営業利益を達成。 世界No.1に向けて積極的な開発と拡販を推し進めております。



代表取締役会長兼社長 坂本 精志

● 存在意義

私たちホシザキグループは、多様化する「食」に対するニーズの変化に対応し、お客様のみならず社会に貢献できる「進化する企業」であることを目指します。これを満たすため、独自の技術に基づくオリジナル製品を創造し、より快適でより効率的な食環境へ向けての新たな提案と迅速かつ高品質なサービスを提供します。

● 経営姿勢

- 遵法はもとより社会と社員から信頼される会社づくり
- 透明性のある経営議論のできる経営の実践
- 事業活動と環境との調和働きやすい職場環境の実現

「良い製品は
良い環境から」

当期の業績

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

当社グループを取り巻く事業環境は、国内及び米国を中心に、主要販売先であるフードサービス産業において、景気回復等により設備投資が好調に推移いたしました。

国内では、消費増税前の駆け込み需要が追い風となり、その後の反動減も当初予想より限定的であり、その中で当社グループは既存顧客への拡販と新規顧客への営業活動を積極的に展開いたしました。海外では、前年度(2013年12月期)に新たにグループ会社となった米国のジャクソン社、インドのウエスタン社、ブラジルのマコム社が業績に寄与いたしました。

また、利益確保に向けて、原価低減、ITを活用した業務の効

率化、生産性の向上等、国内外のグループをあげて取り組みました。

これらの結果、当期の連結業績は、売上高が13.5%の増収、営業利益が34.6%の増益と増収増益基調を持続し、過去最高を達成しました。

今後の成長戦略

上場以来、当社グループは、成熟化の進む国内マーケットにおいては概して深耕政策を、成長分野と見定める海外マーケットにおいては概して拡大政策を、それぞれ推し進めてまいりました。その結果、国内マーケットにおいては、飲食店様以外のお客様への売上が毎年順調に成長しておりますし、海外マーケットにおいては、事業エリアが着実に拡大し、当年度(2014

年12月期)における海外売上高比率は前年度(2013年12月期)の27.7%から31.6%まで上昇いたしました。

当社グループは、既に製氷機では世界一を達成、維持しておりますが、今後は、業務用冷蔵庫及びグループ売上高で世界No.1を目指します。この目標の実現のためには、既にNo.1を実現した国内マーケットに加えて、海外マーケット(当社が事業展開する国または地域)においても、製氷機販売台数、業務用冷蔵庫販売台数、売上高のNo.1を達成することが重要となります。全グループ会社がこの目標に向けて積極的に戦略を推進していきます。

国内においては、従来の製品販売中心のハードビジネスに加えて、ソフトビジネスの更なる強化を図ります。具体的には、メンテナンスサポート、テクニカルサポートといった高度な技術体制の強化、洗剤やお茶等のサプライビジネスの強化、スチームコンベクションオープン・ブラストチラー・真空包装機等、調理に関わる製品販売の支援及びお客様の課題解決を目指すコンサル部隊の強化等を確実に進めていきます。また、成長分野であるプレハブ冷凍・冷蔵庫の更なる拡販を目指して、大型物件にも力を入れていきます。

海外においては、エリア毎に製造能力の拡充、生産性の改善、販売チャネルの強化を積極的に図ります。米国においては、業務用冷蔵庫の販売が着実に成長しておりますが、更なる成長を目指して、来期(2015年12月期)から製造能力拡充に向けた設備投資を行います。また、昨年からアジアにおいて販売拠点の設立を進めており、昨年の2月にインドネシア、今年2月にタイに販売法人を設立しました。今後順次、マレーシア、ベトナム、フィリピン等に販売法人の設立を進めていく予定です。さらに、アジアにおける製氷機及び冷蔵庫マーケットでのボリュームゾーン開拓を目的として、グループ内外からのOEM活用に加えて、自社での低コスト製品の開発・投入も順次進めていきます。海外においては、既存グループ会社の成長性加速に向けた戦略の着実な推進に加えて、従来同様M&Aにも積極的に取り組んでいきます。

2年後の2017年、当社は創立70周年を迎えます。世界における競争環境は激しさを増しておりますが、当社グループはこの節目に「世界一」という確かな未来への礎を築くためにも、全グループ会社一丸となって邁進してまいります。株主の皆様には、引き続きご支援、ご鞭撻のほどお願い申し上げます。

フードサービス機器業界「売上高世界No.1」に向けて

成長性の追求

国内

- プラス領域の攻略
- 営業・サービス協力の高度化
- 保守・修理の強化
- 戦略商品&新商品による品揃えの強化

海外

- 業務用冷蔵庫の拡販
- 既存商圏での販売チャネルの強化
- 新興国を中心とした商圏の拡大
- 現地ニーズに即した新商品による品揃えの強化

収益性の追求

国内 & 海外

- 連結利益の最大化
- 原価率・販管費比率の低減
- 品質の向上

フードサービス機器業界「世界No.1」を目指して、ホシザキ グループの確かな成長戦略が推し進められています。

世界共通の基本方針

- ① 世界No.1である製氷機の市場シェアの更なる向上
- ② 業務用冷蔵庫の市場シェア世界No.1の早期実現
- ③ フードサービス機器業界におけるグループ売上高で世界No.1の早期実現

日本における展開

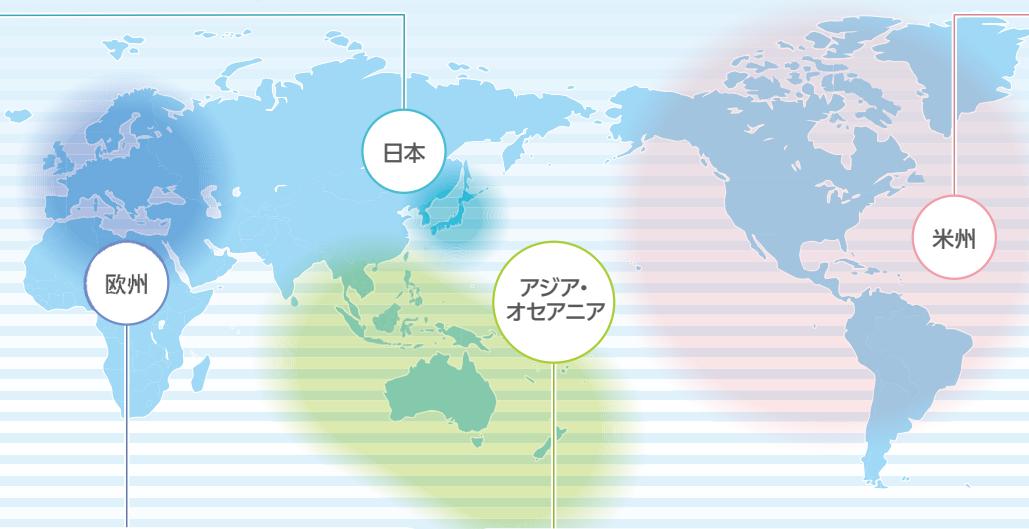
ソフトビジネスの強化による市場の深耕を推進

市場の成熟化が進む日本において、当社グループは、従来の製品販売中心のハードビジネスに加えて、お客様との関係をより深めるためのソフトビジネスを強化しております。具体的には、メニュー開発などお客様と一緒に課題解決を目指す「提案営業」、他社製品の修理等、従来以上に付加価値の高い技術サービスの提供、洗剤やお茶などのサプライ製品の継続的な提供、3D-CADを活用したよりわかりやすい設計図の提供などです。ソフトビジネスを通してお客様との信頼関係、継続的な関係を構築することで、当社が有する主力製品及び戦略製品の拡販にもつなげていきます。

テストキッチンでの提案営業

新規顧客の開拓

テストキッチンを日本各地に用意し、お客様に実際の製品をお試しいただいております。定期的に講習会や試食会などのイベントも開催しており、製品のより良い使用方法や、調理例の紹介、お客様の課題解決をすることで、新規顧客の開拓につなげています。



米州における展開

フードサービス機器メーカーとしての多製品化を推進

米州においては、北米を中心とした事業運営体制に加え、2013年にはマコム社（ブラジル）の買収により南米での事業拡大に向けた基盤も整いました。今後は、ホシザキアメリカ社及びマコム社における業務用冷蔵庫拡販に加えて、米州各グループ会社のシナジー効果創出に向けて取り組んでいきます。



ホシザキアメリカ製縦形冷蔵庫

欧州における展開

製氷機に加えて業務用冷蔵庫の拡販を引き続き推進

欧州市場は現在、景気の後退懸念が高まる状況にあります。そうした中で、当社グループは、製氷機の市場シェア向上に向けて更なる戦略推進を図ると同時に、グラム社が取り組む低コスト冷蔵庫の拡販に積極的に取り組んでいきます。グラム社は医療用などの高級機種に強みを有しておりますが、今後は欧州のボリュームゾーンを狙い、グラムブランドにふさわしい適切な品質を維持した上で、低コスト機の拡販を積極的に進めていきます。また、現在はデンマークで生産をしておりますが、将来はより低コストで生産できる拠点を確保していく予定です。



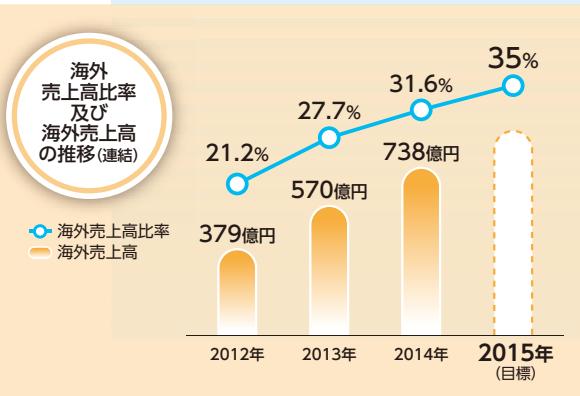
グラム社製縦形冷蔵庫

アジア・オセアニアにおける展開

タイに新会社を設立し、アジア圏への製品の更なる拡販を推進

アジア・オセアニア地域では、中国、香港、台湾、韓国、インドネシア、タイ、インド、オーストラリア、ニュージーランドなどで合計9社がそれぞれ積極的に事業を展開しています。このうち、将来的に大きな経済発展が見込まれるアジアにおいては、昨年ホシザキインドネシア、本年2月にはホシザキタイランドを設立し、販売拠点の拡充など事業基盤の強化が進んでいます。今後は、事業拡大と同時に収益確保を図るべく、より効率的な事業運営体制を目指してまいります。

アジアにおける拠点展開状況



連結財務ハイライト

連結財務ハイライト

(単位：百万円)

	2012年12月期	2013年12月期	2014年12月期
売上高	178,863	205,513	233,252
営業利益	16,483	20,052	26,984
経常利益	19,768	26,349	31,235
当期純利益	11,276	15,769	15,011
純資産	126,389	146,930	164,533
総資産	201,787	232,982	256,412

営業概況

事業環境

当連結会計年度における国内の経済環境は、経済対策、金融対策の実施等により、円安が進み輸出関連企業の業績が改善する等段階的な景気回復基調が続きました。一方、消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動や円安による輸入原材料価格の上昇の影響等、景気の先行きに懸念が残る状況となりました。

海外においては、米国において景気は回復してきており、企業業績は堅調に推移した一方、米国以外の地域は依然として先行き不透明な状況で推移しました。

当社グループを取り巻く環境においては、国内及び米国を中心に、主要販売先であるフードサービス産業において、景気回復等により設備投資が好調に推移しました。一方、国内においては、年度後半から円安及び人手不足の影響等、今後の需要動向は不透明な状況となりました。

業績・成果

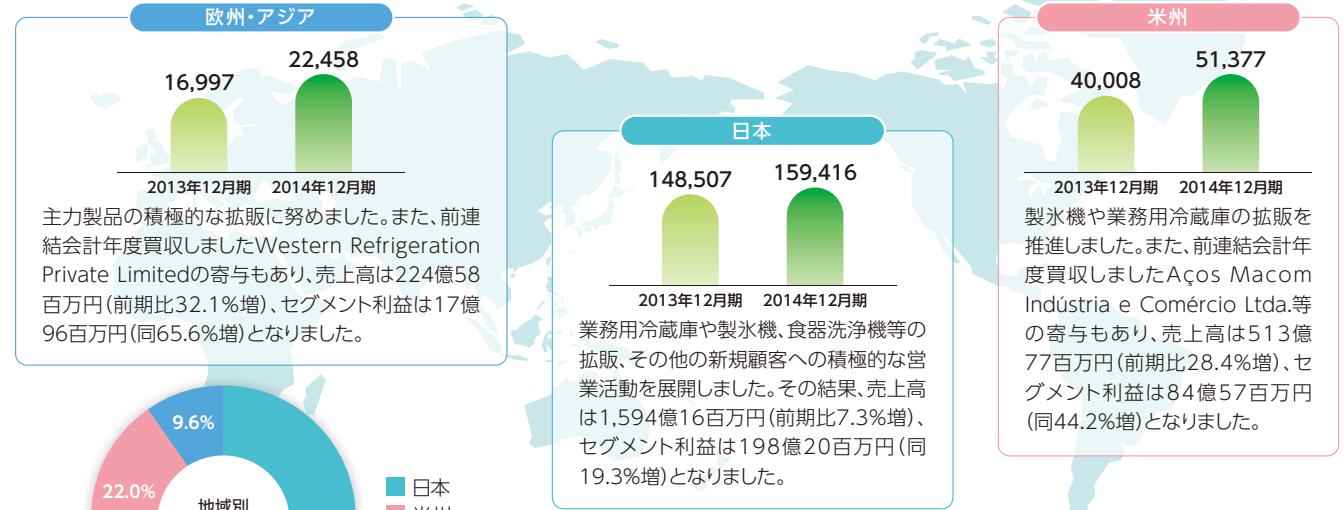
このような環境のなか、当社グループは引き続き、国内では、フードサービス産業への積極的な拡販と新規顧客の継続的な開拓に取り組みました。海外では、主力製品の拡販に務めました。その一方で、原価低減に加えITを活用した業務の効率化や生産性の向上に努め、利益の確保にグループをあげて取り組みました。

以上の結果、当連結会計年度の業績は、売上高2,332億52百万円(前期比13.5%増)、営業利益269億84百万円(同34.6%増)、経常利益は、為替差益32億85百万円の計上等により312億35百万円(同18.5%増)となりました。また、特別損失としてのれん償却額31億86百万円の計上等により当期純利益は、150億11百万円(同4.8%減)となりました。

連結セグメント情報

地域別売上高

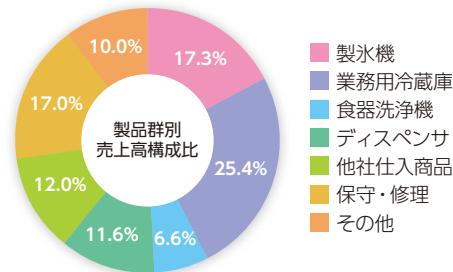
(単位：百万円)



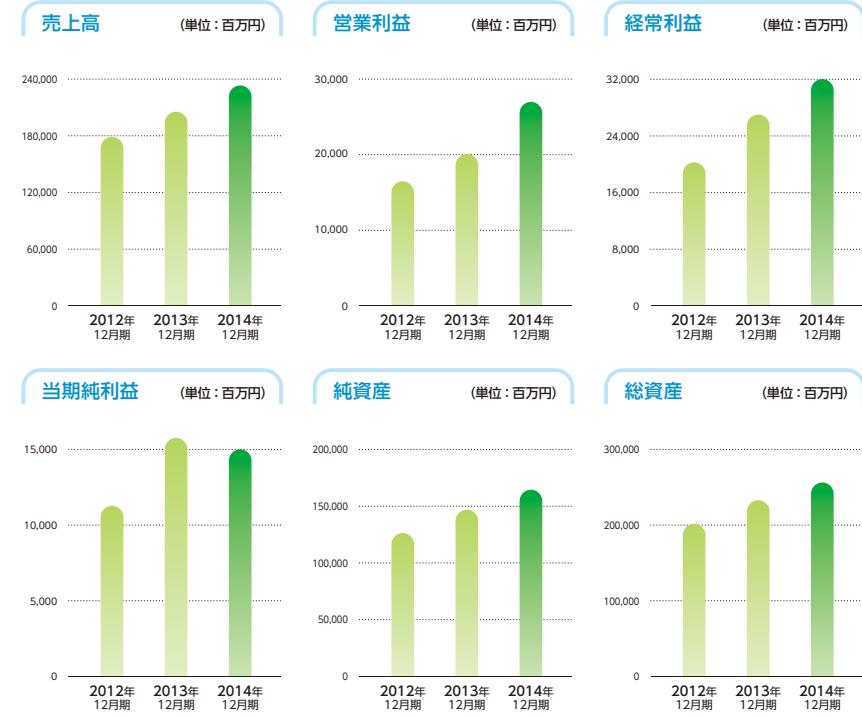
※ エリア等を基軸に各法人を集約した「日本」、「米国」、「欧州・アジア」をセグメントとしております。
 ※ 各地域の売上高は「外部顧客に対する売上高」となっております。

製品別売上高

(単位：百万円)



	2013年12月期	2014年12月期
製氷機	36,234	40,379
業務用冷蔵庫	51,666	59,359
食器洗浄機	13,872	15,337
ディスペンサ	24,615	27,134
他社仕入商品	25,199	27,958
保守・修理	35,661	39,757
その他	18,264	23,326
合計	205,513	233,252



連結財務諸表

① 流動資産

現金及び預金、受取手形及び売掛金、原材料及び貯蔵品が増加したことから、流動資産は前期末比298億9百万円増加し、1,902億79百万円となりました。

② 固定資産

建物及び構築物、機械装置及び運搬具が増加しましたが、のれんが減少したことから、固定資産は前期末比63億79百万円減少し、661億33百万円となりました。

③ 資産合計

固定資産が減少した一方で、流動資産が増加したことから、総資産は前期末比234億30百万円増加し、2,564億12百万円となりました。

④ 連結貸借対照表

	当期末	前期末	増減額
	2014年12月31日現在	2013年12月31日現在	
資産の部			
① → 流動資産	190,279	160,469	29,809
現金及び預金	131,029	109,745	21,283
受取手形及び売掛金	26,369	21,518	4,850
有価証券	3,000	2,701	298
商品及び製品	11,010	10,213	796
仕掛品	3,569	2,768	801
原材料及び貯蔵品	8,299	7,402	897
繰延税金資産	3,504	3,064	439
その他	3,610	3,156	454
貸倒引当金	△115	△102	△12
② → 固定資産	66,133	72,513	△6,379
有形固定資産	43,334	41,496	1,838
建物及び構築物(純額)	17,198	16,288	910
機械装置及び運搬具(純額)	7,139	6,498	640
工具、器具及び備品(純額)	2,133	1,915	217
土地	15,874	15,921	△47
リース資産(純額)	77	65	12
建設仮勘定	911	806	104
無形固定資産	14,905	20,961	△6,056
のれん	6,895	11,789	△4,893
その他	8,009	9,172	△1,162
投資その他の資産	7,893	10,054	△2,161
繰延税金資産	5,511	5,808	△296
その他	2,624	4,489	△1,865
貸倒引当金	△242	△242	0
③ → 資産合計	256,412	232,982	23,430

(単位：百万円)

	当期末	前期末	増減額
	2014年12月31日現在	2013年12月31日現在	
負債の部			
流動負債	71,586	65,908	5,677
支払手形及び買掛金	13,405	12,922	482
未払金	13,086	12,259	826
未払法人税等	3,985	5,352	△1,366
前受金	18,362	16,949	1,413
賞与引当金	3,040	2,632	408
製品保証引当金	1,218	1,051	167
その他	18,487	14,740	3,746
固定負債	20,293	20,144	149
繰延税金負債	5,201	4,564	636
退職給付引当金	—	13,779	△13,779
役員退職慰労引当金	474	505	△31
退職給付に係る負債	13,433	—	13,433
製品保証引当金	732	438	294
その他	451	855	△403
負債合計	91,879	86,052	5,826
純資産の部			
株主資本	157,423	145,208	12,214
資本金	7,948	7,901	46
資本剰余金	14,470	14,423	46
利益剰余金	135,005	122,884	12,121
自己株式	△1	△0	△0
その他の包括利益累計額	5,412	249	5,163
その他有価証券評価差額金	182	146	36
為替換算調整勘定	5,010	102	4,907
退職給付に係る調整累計額	219	—	219
少数株主持分	1,697	1,472	224
純資産合計	164,533	146,930	17,603
負債純資産合計	256,412	232,982	23,430

④ 流動負債

未払法人税等が減少しましたが、未払金、前受金が増加したことから、流動負債は前期末比56億77百万円増加し、715億86百万円となりました。

⑤ 固定負債

退職給付に係る負債の計上など、固定負債は前期末比1億49百万円増加し、202億93百万円となりました。

⑥ 負債合計

流動負債、固定負債ともに増加したことから、負債合計は前期末比58億26百万円増加し、918億79百万円となりました。

⑦ 純資産

利益剰余金、為替換算調整勘定が増加したことなどから、純資産は前期末比176億3百万円増加し、1,645億33百万円となりました。

連結財務諸表

連結損益計算書

(単位：百万円)

	当期 2014年 1月 1日～ 2014年12月31日	前期 2013年 1月 1日～ 2013年12月31日	増減額
売上高	233,252	205,513	27,239
売上原価	142,161	125,326	16,835
売上総利益	91,090	80,187	10,903
販売費及び一般管理費	64,106	60,135	3,971
営業利益	26,984	20,052	6,932
営業外収益	4,566	6,569	△2,003
受取利息	435	416	19
為替差益	3,285	5,473	△2,187
その他	845	679	165
営業外費用	314	272	42
支払利息	176	111	65
その他	138	160	△22
経常利益	31,235	26,349	4,886
特別利益	51	3	48
固定資産売却益	51	3	48
特別損失	4,609	76	4,532
固定資産売却損	78	36	41
固定資産廃棄損	90	38	51
減損損失	104	-	104
のれん償却額	3,186	-	3,186
特別退職金	1,150	-	1,150
その他	-	1	△1,756
税金等調整前当期純利益	26,678	26,276	401
法人税、住民税及び事業税	11,716	11,399	316
法人税等調整額	△97	△851	754
法人税等合計	11,618	10,547	1,070
少数株主損益調整前当期純利益	15,059	15,728	△668
少数株主利益又は少数株主損失(△)	47	△41	89
当期純利益	15,011	15,769	△758

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	当期 2014年 1月 1日～ 2014年12月31日	前期 2013年 1月 1日～ 2013年12月31日	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	22,002	20,212	1,789
投資活動によるキャッシュ・フロー	△21,888	△4,489	△17,398
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,042	△1,499	△543
現金及び現金同等物に係る換算差額	987	1,987	△999
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△940	16,211	△17,151
現金及び現金同等物の期首残高	52,710	36,498	16,211
現金及び現金同等物の期末残高	51,769	52,710	△940

8 売上高

景気回復等により設備投資が好調に推移する中、国内ではフードサービス産業への積極的な拡販活動や新規顧客の開拓等に努め、海外では主力製品の拡販に努めた結果、売上高は前期比13.5%増の2,332億52百万円となりました。

9 営業利益／経常利益

増収効果に加え、原価低減、ITを活用した業務の効率化や生産性の向上に努めた結果、営業利益は前期比34.6%増の269億84百万円となり、経常利益は、円安の進行による為替差益32億85百万円も加わり、前期比18.5%増の312億35百万円となりました。

10 当期純利益

当期純利益は、前期比4.8%減の150億11百万円となりました。

11 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、220億2百万円の収入となりました。これは主に、法人税等の支払額(131億64百万円)がありましたが、一方で、税金等調整前当期純利益(266億78百万円)、のれん償却額(54億73百万円)、減価償却費(53億43百万円)などがあったことによるものです。また、当期における投資活動では、定期預金の純増による支出180億16百万円、有形固定資産による支出45億3百万円がありました。

12 現金及び現金同等物の期末残高

営業活動によるキャッシュ・フローの収入増、投資活動によるキャッシュ・フローの支出増などの結果、現金及び現金同等物の当期末残高は前期末に比べ9億40百万円減少し517億69百万円となりました。

株式関連情報 (2014年12月31日現在)

株式の状況

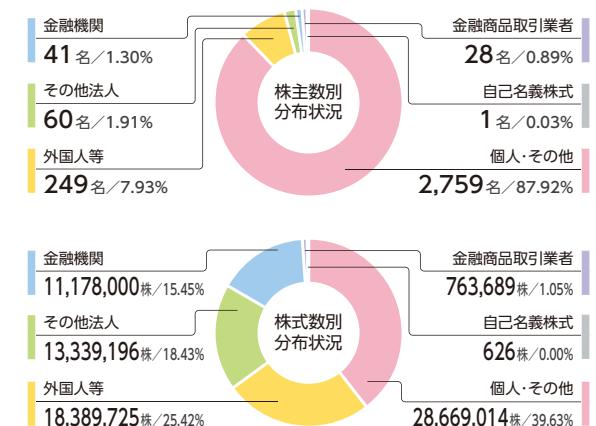
発行可能株式総数	250,000,000 株
発行済株式の総数	72,340,250 株
株主数	3,138 名

大株主の状況

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
坂本ドネイション・ファウンデーション株式会社	6,203	8.57
公益財団法人ホシザキグリーン財団	5,800	8.02
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー	3,556	4.92
ホシザキグループ社員持株会	3,428	4.74
真木 薫	1,757	2.43
稲森 美香	1,722	2.39
真木 豊	1,707	2.36
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,632	2.26
森井 純子	1,530	2.12
伊東 由美	1,530	2.12

※持株比率は自己株式(626株)を控除して計算しております。

株式分布状況



国内外ネットワーク (2014年12月31日現在)

ホシザキ電機株式会社

- 本社/愛知県 豊明市
- 島根本社工場/島根県 雲南市

国内グループ会社

- ホシザキ北海道株式会社/北海道 札幌市
- ホシザキ東北株式会社/宮城県 仙台市
- ホシザキ北関東株式会社/埼玉県 さいたま市
- ホシザキ関東株式会社/東京都 文京区
- ホシザキ東京株式会社/東京都 港区
- ホシザキ湘南株式会社/神奈川県 横浜市
- ホシザキ北信越株式会社/石川県 金沢市
- ホシザキ東海株式会社/愛知県 名古屋
- ホシザキ京阪株式会社/大阪府 大阪市
- ホシザキ阪神株式会社/大阪府 大阪市
- ホシザキ中国株式会社/広島県 広島市
- ホシザキ四国株式会社/香川県 高松市
- ホシザキ北九州株式会社/福岡県 福岡市
- ホシザキ南九州株式会社/鹿児島県 鹿児島市
- ホシザキ沖縄株式会社/沖縄県 那覇市
- 株式会社ネスター/愛知県 大府市
- サンセイ電機株式会社/島根県 雲南市

海外グループ会社

- HOSHIZAKI USA HOLDINGS, INC./米国
- HOSHIZAKI AMERICA, INC./米国
- HOSHIZAKI SOUTH CENTRAL DISTRIBUTION CENTER, INC./米国
- HOSHIZAKI WESTERN DISTRIBUTION CENTER, INC./米国
- HOSHIZAKI NORTHEASTERN DISTRIBUTION CENTER, INC./米国
- HOSHIZAKI NORTHCENTRAL DISTRIBUTION CENTER, INC./米国
- HOSHIZAKI SOUTHEASTERN DISTRIBUTION CENTER, INC./米国
- HOSHIZAKI NEW ENGLAND DISTRIBUTION CENTER, INC./米国
- LANCER CORPORATION/米国
- ADVANCED BEVERAGE SOLUTIONS, LLC/米国
- Jackson WWS, Inc./米国
- LANCER DE MEXICO, SOCIEDAD ANONIMA DE CAPITAL VARIABLE/メキシコ
- INDUSTRIAS LANCERMEX, SOCIEDAD ANONIMA DE CAPITAL VARIABLE/メキシコ
- SERVICIOS LANCERMEX S.A. DE C.V./メキシコ
- Aços Macom Indústria e Comércio Ltda/ブラジル

米州

欧州・アジア・その他の地域

- Hoshizaki Europe Holdings B.V./オランダ
- HOSHIZAKI EUROPE LIMITED/英国
- Hoshizaki Europe B.V./オランダ
- GRAM COMMERCIAL A/S/デンマーク
- GRAM UK LIMITED/英国
- Gram Deutschland GmbH/ドイツ
- Gram Nederland B.V./オランダ
- Graminoks Sogutucu Sanayi ve Ticaret A.S./トルコ
- HOSHIZAKI SINGAPORE PTE LTD/シンガポール
- HOSHIZAKI LANCER PTY LTD/豪州
- HOSHIZAKI LANCER LIMITED/ニュージーランド
- Lancer Europe N.V./ベルギー
- Western Refrigeration Private Limited/インド
- Western Coolers and Freezers Private Limited/インド
- PT. HOSHIZAKI INDONESIA/インドネシア
- 星崎(中国)投資有限公司/中国
- 星崎冷熱機械(上海)有限公司/中国
- 星崎電機(蘇州)有限公司/中国
- 台湾星崎股份有限公司/台湾
- 星崎香港有限公司/香港
- Hoshizaki Korea Co., Ltd./韓国